



報道関係各位
プレスリリース
CNJ_GQPR2020003

2020/1/21

コンデナスト・ジャパン

『GQ JAPAN』2020年3月号（1月24日発売）

八代目・市川染五郎が表紙に登場、 「男らしさ」って何？「新しい男らしさ」を大特集！

『GQ JAPAN』（コンデナスト・ジャパン発行）の最新号（1月24日（金）発売）では、「新しい男らしさ」を大特集。ジェンダーレス・ファッションやメイク男子がリアルになりつつあるいま、最新のジェンダーレス・ファッションに身を包む10代から40代までの旬な男たち、ジェンダー・フルイドなファッションを打ち出すグッチのクリエイティブ・ディレクター アレッサンドロ・ミケーレやジバンシィのアーティスティック・ディレクター クレア・ホワイト・ケラー、そして音楽・ファッションのキングであるファレル・ウィリアムスらが、進化した「男らしさ」を『GQ』に語る。表紙には歌舞伎界の将来を担う14歳、八代目・市川染五郎が登場。



■特集「男らしさ」って何？

【旬な男たちのジェンダー超えファッション！】

最新のジェンダーレス・ファッションに身を包み、八代目・市川染五郎（歌舞伎役者）、志尊淳（俳優）、KOHJ（アーティスト）、MIYAVI（ミュージシャン・俳優）、浅野忠信（俳優・映画監督・ミュージシャン）、斎藤工（俳優・映画監督）、小源寺亮太（ポールダンサー）が登場する。スタイリングを手掛けるのは、映画・舞台をはじめメディアの最前線で闘ってきた伝説のスタイリスト北村道子。10代から40代までの旬な男たちに、ジェンダー超えのファッションをスタイリング。

【ファッションが“男”を変える】

2015年にグッチのクリエイティブ・ディレクターとしてデビューし、ファッションにおける「男らしさ」を、いとも簡単に作り変えたアレックス・ミケーレに独占インタビュー。その思想やテクニックをひも解く。また、2018年の英王室ヘンリー王子との結婚式でメーガン・マークルが着用したドレスをデザインしたことで一躍有名となったジバンシィのクリア・ホワイト・ケラーは、昔ながらのマスキュリンなナラティブに新たな着眼点を持ち込み、服飾の未来形を提示している。フェミニンな男らしさという彼女独自の美意識を『GQ』が迫った。

【ファレルが語る進化した「男らしさ」】

真っ黄色のドレスを着たファレル・ウィリアムスが2019年11月号の米『GQ』の表紙に登場した。音楽・ファッションのキングが語ったのは2020年の「男性性」（または「女性性」）について。本号特集の最後を飾る、ファレルの直撃インタビューは必読だ。

■坂本龍一×ビー・ガン『ロングデイズ・ジャーニー』をめぐって

世界中の映画祭で絶賛された中国映画『ロングデイズ・ジャーニー この夜の涯てへ』がついに、2月28日に日本で公開される。映画に惚れ込んだ坂本龍一と中国が生んだ30歳の若き天才映画監督ビー・ガンの対談が実現した。

■ その他、『GQ JAPAN』2020年3月号は以下の通り

・ ウワサのタウン 渋谷グルメの歩き方

渋谷を拠点に気鋭のクリエイターたちで構成される次世代のクリエイティブ集団「marble studio」が、渋谷グルメの歩き方を指南する。

・ MAN OF THE MONTH 新田真剣佑

・ IT GIRL 南 沙良

■ GQ JAPAN ウェブサイト <https://gqjapan.jp>

■ Instagram <https://www.instagram.com/gqjapan/>

■ Twitter <https://twitter.com/GQJAPAN>

■ Facebook <https://www.facebook.com/GQJAPAN>

【GQ JAPAN】

1957年に米国で創刊し、現在20の国と地域で発行する、クオリティ・ライフスタイル誌『GQ』の日本版。Globalな視点で物事を考えることができ、Independentで成熟した男性の24時間365日の情報源として、2003年に創刊。知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のためのライフスタイル誌として、幅広い層から支持を得ている。時代に影響を与えた各界の男性たちを毎年年末に表彰する「GQ MEN OF THE YEAR」も好評。編集長：鈴木正文（すずき まさふみ） / 発売：25日 / 定価：880円 / 発行：コンデナスト・ジャパン
インターネットへ掲載の場合、次のURLを掲載の上、リンクしてください。 <https://gqjapan.jp/magazine/latest/>

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先：『GQ JAPAN』マーケティング部 TEL: 03-5485-9340